

# 日立一高ラグビー部OB会報

一九九五年十月一日発行 第二号  
編集・発行 日立一高ラグビー部OB会

## 部員の減少 に歯止めを

ここ数年、高校ラグビー界における部員数の減少が深刻化しています。

例えば、全国大会茨城県予選への参加校は、昨年度は三十五校、本年度は二校増えたものの三十七校と、最盛時の四十七校に比べて三割近く減っています。

全国的に見ても、ラグビーマガジン誌の調査によれば、平成五年度から六年度にかけて、部員数にして約五千人、花園予選への出場校にして一五六校が減少しています。

同誌によれば、今春の全国大会で優勝した相模台工においても、例年は五十人

近い新入生が入るところ、今年度は二十五人と半減しており、その他の花園出場校においても、ここ一・二年は部員数の減少が顕著になつてきているとのこと。

受験勉強との両立の困難さ、3K（危険、きつい、汚ない）イメージの定着、高校生全般の部活動離れ（文化部、運動部とも）、Jリーグ人気の反動、ワールドカップにおける日本代表の不振など、逆風の要因は多岐に渡っており、解決の糸口はなかなか見つからないのが現状のようです。本校ラグビー部においても、七月の県総体終了後には三年生八人が引退し、現在は三年生四人、二年生九人、一年生六人の計十九人で活動をしています。つまり、このまま行くと

来春の新人戦には、十五人ギリギリで臨まなければなりません。

ラグビーという怪我の絶えない競技において、リザーブなしで公式戦を戦い抜くことは不可能です。更には、練習中にスクラムすら満足に組めず、監督以下、日々の練習にも苦慮している状況です。

現在では、日立一高の生徒数のうち、約三分の一が女子生徒で占められており、高校生の部活動離れが進む中で、一定の部員数を確保していくことは年々困難になってきています。

一部の中学生及び父兄の間では「一高でラグビー部に入ると現役で大学に入れなくなる。」などという噂が流れているとも聞きますが、決してそのようなことはありません。

ラグビー部員の現役進学率は、過去のデータから見ると、一般学生と比べても遜色はありません。むしろ

部の成績が良い年には、推薦入学も含めて、学校平均を上回っていることもあるでしょう。

しかしながら、このまま部員数の減少が続けば、部の存続に関わる問題となつてしまいます。

つきましては、私達OBにも何か支援できる手立てはないでしょうか。

OB諸氏の中で、息子さんや弟さんが一高に在学中又は来春受験希望の方はいらっしゃいませんか？

御近所に、性格や体格の良い中学生はいないでしょうか？

日立一高でラグビーをやってみたい、又はラグビーに興味がある、そんな子供たちが、探せばきつというはずです。

もし、お心当たりがありましたら、OB会事務局（裏面に連絡先記載）又は吉沢監督（日立一高 2216488）まで御一報ください。

ゴールポストの寄贈について（報告・御礼）

ラグビー部 監督

吉沢和彦

拝啓 OB各位には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

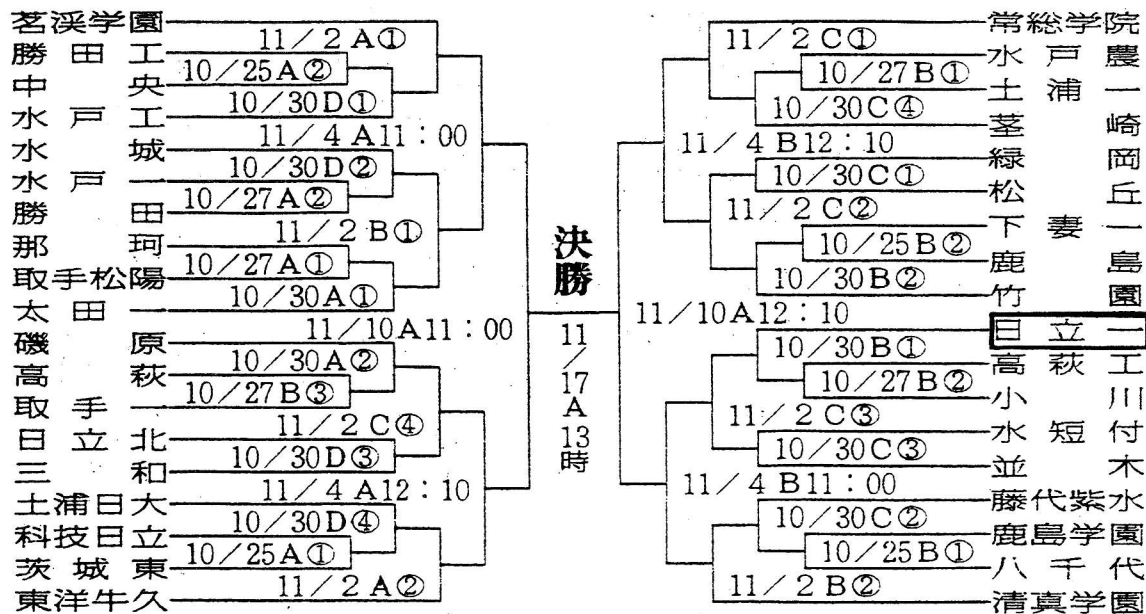
さて、この度はラグビー部創部五十周年記念事業といたしまして、ゴールポスト（組立式・一対）を寄贈設置いただき、誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、八月二十九日に設置工事を終えることができました。

当初は、夏合宿のOB戦時に「こけら落とし」を考慮しておりましたが、グラウンド使用日程の都合で約一箇月工事が遅れてしまいました。しかし、部員一同心から喜んでおり、日々の練習にも活気が出てまいりました。まずは、設置の御報告方々御礼を申し上げます。

敬具

# 【第75回全国高校ラグビー県大会組み合わせ】



会場：A・堀原運動公園(1) B・堀原運動公園(2) C・水戸農高 D・中央高  
 開始時間：①・10:30 ②・11:40 ③・12:50 ④・14:00

## 平成六年秋 からの戦跡

第七四回全国高校ラグビー 大会県予選	一回戦	◎七九	一	〇	緑岡
	二回戦	◎八二	一	〇	竹園
	三回戦	×六一	二六	常総学院	
県高校ラグビー新人大会	二回戦	◎五五	一	〇	中央
	準々決勝	×二四	一	二六	東洋大牛久
第四三回関東高校ラグビー 大会県予選	二回戦	◎一一	一	一	那珂
	準々決勝	◎三七	一	一	四東洋大牛久
	準決勝	×一一	二	五七	茗溪学園
	三位決定戦	×一一	二	二	磯原

県民総体(兼)国体県予選  
三回戦

◎四四 一 〇 土浦日大  
準々決勝

×七一 七 東洋大牛久  
(抽選負け)

五位・七位決定戦  
◎二九 一 一七 太田一

### 事務局より

昨年十月、年二回発行を  
目標に創刊した「OB会報」  
ですが、今春は創部五十周  
年事業に追われ、発行する  
ことができず、誠に申し訳  
ございませんでした。

さて、冒頭にも記したと  
おり、ここ数年、部員数の  
減少が深刻化しております。  
何か情報がありましたら、  
事務局まで御連絡ください。

【自宅】〒三一七  
日上市助川町三一七 四

木下 俊 雄  
〇二九四 一 二 一 四八九〇

### 【職場】

日上市役所 企画調整課

〇二九四 一 二 一 三一一一  
(内線) 二九二

## 平成五年度 卒業生進路

山内 洋	埼玉大
金沢 亮	日本大
大森 友紀	明治鍼灸大
渥美 正平	東洋大
川俣 昌洋	日本大
石 一智	日本大
関山 鏡子	芝浦工大
助川 鏡子	専修大
布施 陽一	東海大
真弓 健一	

## 平成六年度 卒業生進路

青山 勇一	千葉工業大
石井 恒司	明治大
加藤 貴幸	東北福祉大
栗原 信也	
篠田 悟	法政大
茅根 康正	室蘭工業大
鶴田 誠一	
豊島 将司	
中島 啓介	
原 正紀	
樋本 鶴雄	
松本 和彦	大東文化大
尾崎 寛子	
林 和代	

※近況報告を兼ねて、事務  
局で掌握している範囲内で  
掲載しましたので、誤脱等  
がありましたら御容赦くだ  
さい。